

「香川県総合計画の見直し(素案)」に関する パブリック・コメントについて意見表明

日本損害保険協会四国支部委員会(委員長:横川 功・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員 四国本部長)では、2023年6月26日付で香川県から公表された「香川県総合計画の見直し(素案)」に係るパブリック・コメントに対して意見表明を行いました。

《パブリック・コメントの概要》

香川県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本方針となるもので、現行の総合計画は令和3年10月に策定されたが、昨今の社会経済情勢等の変更を踏まえ、県民目線に立って、一体となって取組みを推進する視点で、施策を再構築するために、見直しを行うもの

これに対し、四国支部では、以下のとおり意見表明を行っています。

《意見内容の概要》

P34 重点施策5 「災害や濁水に強い県土をつくる」について

P35 から「取組みの方向」が記載されているが、その点について意見を申し上げる。

1 南海トラフ地震・津波対策の推進

- ・記載の内容はすべて地震や津波対策に必要な対策と思われるため、賛成する。
- ・追記として、地震等による被災者の生活の安定に寄与する地震保険の普及促進に努めることが本計画の基本方針に沿っていると考えられるため、検討願いたい。

4 防災意識の向上

- ・『「自らの命は自らが守る」という意識の徹底や、地域の災害リスクと適切な避難行動等についての県民の理解を深めるため、普及啓発や防災教育を積極的に行い、自助の取組みを促進します。』とある。重要な取組みと思われる賛成する。
- ・一方で防災意識の向上は若年層(小学生)から継続的に行っていく必要があると考える。特定の層への断続的な活動では効果が限定的になるとわれ、若年層から継続的な防災教育等を期待する。

P40 重点施策6 「交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる」について

P41 から「取組みの方向」が記載されているが、その点について意見を申し上げる。

1 交通死亡事故の抑止

- ・『交通事故多発路線等において、真に必要な信号機や道路利用者にとって見やすく分かりやすい道路標識・標示の整備などを引き続き推進するとともに、優先度の高いところから歩道等の設置や交差点の改良等を進める』とあり、賛成する。
- ・何を以て優先度の優劣を付けるのか一定のメルクマールはあると思うが、上天神西交差点や上天神町交差点は、アンダーパス車線を含む大型交差点であり、交差点直前での車線変更が多く見られ、交通事故多発交差点である。
- ・同交差点は県外利用者も多く利用することから、対策を検討いただきたい。

四国支部では、今後も行政や関係機関と協力し、地域の安全・安心に資する取組みを推進していきます。